

令和4年度

事業概要



鳥取県食肉衛生検査所

〒689-3203

とっとりけんさいはくぐんだいせんちょうこたけ
鳥取県西伯郡大山町小竹1291-7

TEL:0859-54-2531

FAX:0859-54-4814

E-mail:shokunikueisei@pref.tottori.lg.jp

目 次

I 総説

1	沿革	1
2	組織及び職員の状況	2
3	職員配置	2
4	鳥取県食肉衛生検査所条例	3
5	と畜検査業務フローシート	4
6	施設の概要	5
7	主な検査機械器具	6
8	主要行事・職員の研修	7
9	と畜場概要	8

II 事業の概要

1	食肉衛生検査状況	
(1)	と畜検査頭数	9
(2)	検査結果に基づく措置	9
(3)	病畜検査	9
(4)	T S E (B S E) スクリーニング検査	9
(5)	と畜検査の詳細	
ア	月別と畜検査頭数	10
イ	月別病畜検査頭数	10
ウ	産地別搬入頭数	11
エ	と畜場内とさつ頭数及び獣畜のとさつ解体禁止又は廃棄したものの原因	12
オ	病類別一部廃棄頭数	13
カ	病畜疾病別検査頭数	14
(6)	試験室内検査実施状況	
ア	行政検査(精密検査)	15
イ	受託検査	15
ウ	調査研究	15
2	と畜場等の衛生管理指導	
(1)	枝肉等の衛生状態の把握	16
(2)	食品衛生月間	16
(3)	従事者の衛生教育	16
(4)	食品営業許可施設の監視指導	17
3	と畜検査データフィードバック事業	
(1)	生産者へのフィードバック	17
(2)	臨床獣医師へのフィードバック	17
4	検体採取等の協力	18
5	調査研究	18
6	食肉衛生検査所 P R 事業	19

III 研究発表の記録

1	過去10年間の学会・研修会発表記録	20
---	-------------------	----

IV 参考資料

1	年度別と畜検査頭数(鳥取県)	22
2	畜種別と畜検査頭数((株)鳥取県食肉センターと畜場)	22
3	と畜検査頭数の推移	23
4	全部廃棄原因別状況	24
5	検査結果に基づく処分頭数	25
6	鳥取県食肉衛生検査所案内図	25

I 総 説

1 沿革

昭和 58 年 12 月 2 日	(株)鳥取県食肉センター「と畜場」許可 (鳥取県指令受衛第 25 第 1 号)
昭和 58 年 12 月 5 日	(株)鳥取県食肉センター試験操業開始 米子保健所管轄のため、と畜検査は米子保健所検査員を主体に、県内と畜検査員の応援を求めと畜検査開始
昭和 58 年 12 月 13 日	鳥取県行政組織規則の一部改正公布 昭和 59 年 1 月 1 日施行 食肉衛生検査所職員定数 8 名 昭和 59 年 1 月 1 日付人事異動発令 (技術吏員 7 名、事務吏員 1 名) 非常勤職員 (事務) 1 名
昭和 59 年 2 月 1 日	食肉衛生検査所竣工式
昭和 60 年 3 月 31 日	(株)日清ハム付属と畜場廃止
昭和 60 年 5 月 1 日	米子保健所と畜検査員 2 名に食肉衛生検査所兼務発令
昭和 60 年 8 月 31 日	米子市営と畜場廃止
昭和 61 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 2 名増員 (本務発令) により職員定数 10 名 (技術吏員 9 名)
昭和 61 年 5 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員により職員定数 11 名 (技術吏員 10 名)
平成 3 年 11 月 30 日	中部食肉センターと畜場廃止
平成 8 年 3 月 31 日	鳥取市営と畜場廃止
平成 10 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員により職員定数 10 名 (技術吏員 9 名) 財食鳥肉衛生協会事務所が食肉衛生検査所庁舎内に移転
平成 12 年 4 月 1 日	鳥取県食肉衛生検査所条例 (鳥取県条例第 16 号) 制定、同日施行
平成 13 年 10 月 15 日	BSE 検査対応で食肉衛生検査所 2 名増員 (技術吏員)
平成 13 年 10 月 18 日	BSE 検査開始 (平成 13 年 9 月 10 日、千葉県で国内最初の BSE 確認される)
平成 14 年 7 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員 (技術吏員)
平成 20 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員 (職員定数 13) 事務次長を廃止し技術次長を配置
平成 23 年 8 月 11 日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を開始
平成 24 年 7 月 31 日	と畜された牛枝肉の放射性セシウム全頭検査を終了
平成 25 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名増員 (技術吏員、職員定数 14)
平成 25 年 7 月 1 日	BSE 検査の対象牛を全頭から月齢 48 か月超に変更
平成 26 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員 (技術吏員、職員定数 13)
平成 29 年 4 月 1 日	BSE 検査の対象を月齢 24 か月以上の牛並びに全月齢のめん羊及び山羊のうち原因不明の神経症状等が認められる場合に変更
平成 30 年 4 月 1 日	食肉衛生検査所 1 名減員 (技術吏員、職員定数 12)

2 組織及び職員の状況

(1) 組織 (令和4. 4. 1 現在)

生活環境部 — 暮らしの安心局 — 暮らしの安心推進課 — 食肉衛生検査所 — } 管理検査担当
試験検査担当

(2) 職員の状況 (令和4. 4. 1 現在)

区 分	所 長	次 長	課長補佐	係 長	衛生技師	会計年度職員等	計
技術吏員	1	1	2	4	3		11
事務吏員						1	1
計	1	1	2	4	3	1	12

3 職員配置

(令和4. 4. 1 現在)

職 名		所 掌 事 務
所 長		総 括
次 長		事務の総括、と畜検査
管理 検査 担当	課 長 補 佐 (1 名)	管理検査担当総括、と畜検査
	係 長 (1 名)	と畜場等の衛生指導、と畜検査
	衛 生 技 師 (2 名)	と畜検査
試験 検査 担当	課 長 補 佐 (1 名)	試験検査担当総括、と畜検査
	係 長 (3 名)	試験検査各部門担当、と畜検査
	衛 生 技 師 (1 名)	と畜検査
会 計 年 度 職 員(1 名)		一般事務

4 鳥取県食肉衛生検査所条例

制定：平成12年3月28日(鳥取県条例第16号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第156条第1項の規定に基づき、と畜検査及びと畜場の衛生並びにと畜場における食品衛生に関する事務を所掌させるため、鳥取県食肉衛生検査所(以下「検査所」という。)を西伯郡大山町に設置する。(平16条例68・一部改正)

(所管区域)

第2条 検査所の所管区域は、鳥取県の区域とする。

(手数料の徴収)

第3条 検査所において行う業務については、別表に定めるところにより、手数料を徴収する。

(手数料の減免)

第4条 知事は、特別の理由があるときは、規則で定めるところにより、手数料を減免することができる。

(規則への委任)

第5条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

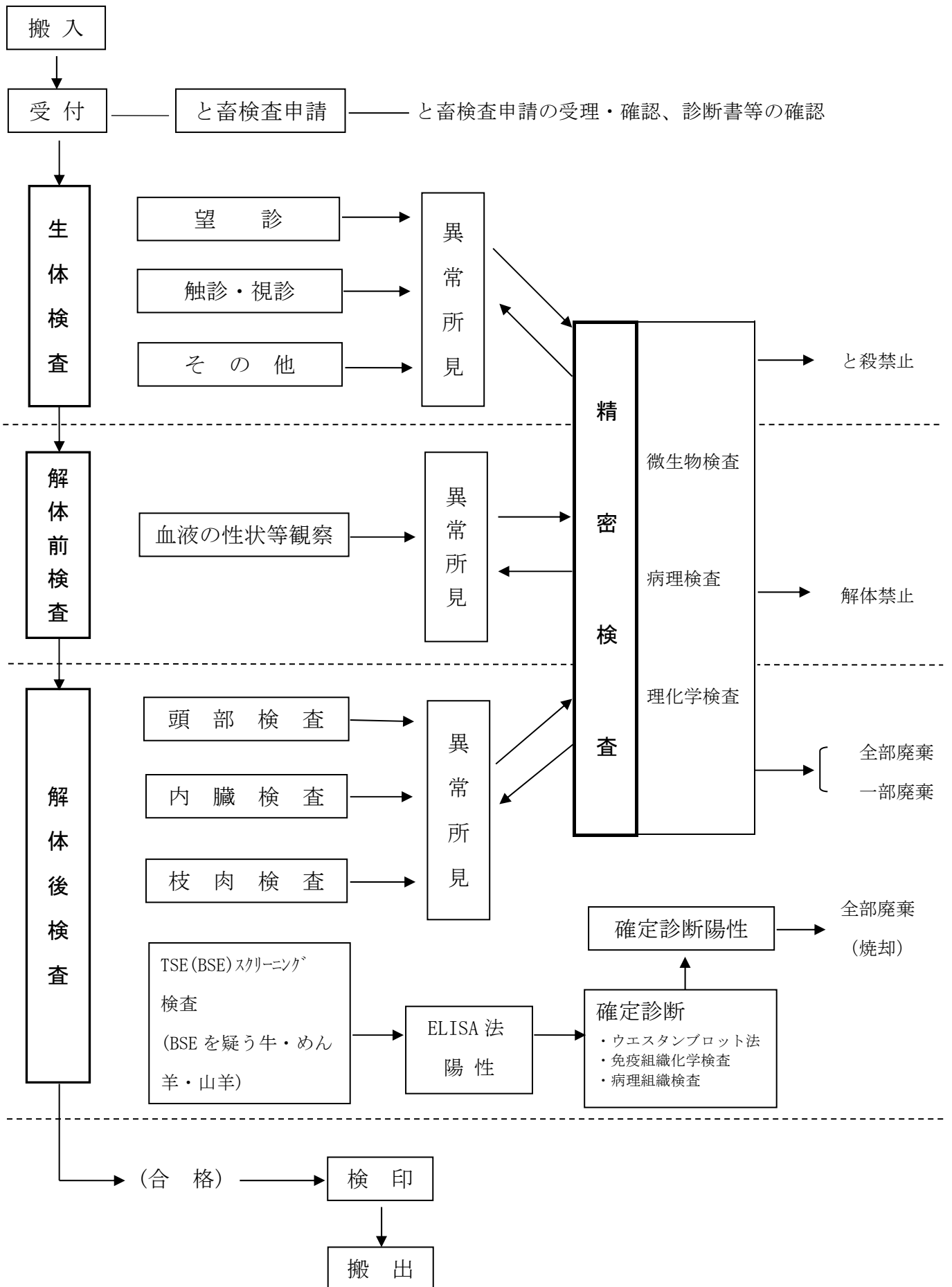
附 則(平成17年条例第100号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

別表(第3条関係)

区 分	金 額
1 と畜場法(昭和28年法律第114号)第14条第1項から第3項まで(同条第4項において準用する場合を含む。)の規定による検査	
(1) 病畜以外の獣畜	
ア 生後1年未満の牛又は馬	
(ア) 生体50キログラム未満	1件につき 200円
(イ) 生体50キログラム以上	1件につき 450円
イ 生後1年以上の牛又は馬	1件につき 900円
ウ 豚	1件につき 420円
エ めん羊又は山羊	1件につき 200円
(2) 病畜	1件につき 1,300円
2 食肉の規格試験	
(1) 前処理の必要がないもの又は前処理として溶媒に溶解するものその他これに類する程度の前処理を行なうもの	1件につき 3,300円
(2) (1)以外のもの	1件につき 34,100円
3 食肉の一般試験	1成分につき 3,300円
4 証明書の発行	1通につき 420円

5 と畜検査業務フローシート



6 施設の概要

□ 敷地・建物

■ 敷地面積……1,483.53㎡ ■ 建物面積……633.45㎡

● 事務室・小会議室 92.4㎡ ● 病理組織検査室 50.8㎡
 ● 微生物検査室 47.8㎡ ● 理化学検査室 42.4㎡
 ● 遺伝子検査室 61.5㎡ ● その他 338.5㎡
 ○ 会議室 49.7㎡ ○ 車庫 16.1㎡

□ 建物平面図(鉄筋コンクリート平屋建)



□ 配置図(鳥取県食肉センター内)



7 主な検査機械器具

(1) 微生物検査

品名	数量	品名	数量
メディカルフリーザー	1	超音波洗浄器	1
冷凍冷蔵庫	1	ホモジナイザー	1
冷蔵庫	1	実体顕微鏡	1
高圧滅菌器	1	顕微鏡	1
クリーンベンチ	1	蛍光微分干渉顕微鏡	1
ストマッカー	2	プレートインキュベーター	1
乾熱滅菌器	1	インキュベーター	1
高速マイクロ冷却遠心器	1	電気ふらん機	1
ロータ	1	アルミブロック恒温槽	1

(2) 病理検査

品名	数量	品名	数量
冷凍冷蔵庫	1	生物顕微鏡	1
小型滑走式マイクローム	1	ディスクッション顕微鏡	1
マイクローム	1	電気恒温器	1
マイクロームクリオスタット	1	パラメディカル撮影装置	1
恒温乾燥器	1	赤外線水分計	1
パラフィンディスペンサー	1	ティッシュプロセッサ	1
インキュベーター	1	万用天秤	1

(3) 理化学検査

品名	数量	品名	数量
パラメディカルフリーザー	1	振とう機	1
冷凍冷蔵庫	1	臨床用ヘマトクリット遠心機	1
超微量高速遠心機	1	分光光度計	1
ドラフトチャンバー	1	臨床化学自動分析装置	2
多項目自動血球計数装置	1	アイスライサー	1
デシケーター	1	電気泳動装置	1
マルチビーズショッカー	1	電気泳動ゲル撮影装置	1
マイクロプレートリーダー	1	遺伝子増幅装置	1

(4) 遺伝子検査

品名	数量	品名	数量
冷蔵庫	1	トランスイルミネーター	1
メディカルフリーザー	1	遺伝子増幅装置	1
高圧滅菌器	2	リアルタイム PCR システム	1
安全キャビネット	2	恒温振盪水槽	1

(5) その他

品名	数量	品名	数量
プロジェクター	1	薬品庫	1
カメラ・デジタルカメラ	3		

8 主要行事・職員の研修

開催月	会議名・研修(講習会)名	開催地
5月	鳥取県獣医師会理事会	湯梨浜町
7月	(株)鳥取県食肉センター畜魂祭	大山町
	鳥取県食肉センター衛生管理講習会	大山町
8月	令和4年度全国食肉衛生検査所長会議及び第58回全国大会(総会の書面開催)	大山町
10月	第33回全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会(書面開催)	大山町
	令和4年度全国食肉衛生検査所協議会理化学部会総会及び研修会(書面開催)	大山町
	全国食肉衛生検査所協議会微生物部会令和4年度総会及び研修会(書面開催)	大山町
11月	と畜場運営委員会	大山町
	令和4年度全国食肉衛生検査所協議会病理部会総会(書面開催)	大山町
12月	家畜改良センター鳥取牧場職員講習会	琴浦町
1月	令和4年度畜産技術業績発表会	鳥取市
	令和4年度食肉及び食鳥肉衛生技術研修並びに研究発表会(書面開催)	大山町
2月	鳥取県獣医師会西部支部研修会	米子市
3月	畜産農家HACCP会議	琴浦町
	と畜場運営委員会	大山町

9 と畜場概要

(令和4.4.1現在)

名称	鳥取県食肉センター	処理能力(日)	大動物：60 小動物：550
設置者	(株)鳥取県食肉センター	と殺方法	大動物：銃撃 小動物：電撃
管理者	(株)鳥取県食肉センター	冷蔵(冷凍)庫	枝肉 牛 177 頭、豚 1,095 頭
所在地	西伯郡大山町小竹 1291-1	使用水	井戸水
許可年月日	昭和 58 年 12 月 2 日	汚物焼却能力	焼却炉 195 kg/時
と畜場区分	一般と畜場	汚水処理	1,000t/日 活性汚泥法(三次処理)
と畜場番号	6	血液処理装置	有
敷地面積	48,880 m ²	部分肉処理 施設	有(960 m ²)
建物構造面積	鉄筋 7,502 m ²		

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

令和4年度における総検査頭数は84,887頭で、畜種別内訳は、牛は5,349頭(和牛1,715頭、乳牛3,632頭、肉専用種2頭)、豚は79,490頭、とく8頭、めん羊10頭、山羊30頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛22頭、豚329頭であった。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、と体の一部を廃棄するなどの処分をした総頭数は31,473頭(総検査頭数の37.1%)であった。

ア 禁止

とさつ禁止頭数は豚3頭で、処分理由は全て膿毒症であった。

イ 全部廃棄

全部廃棄頭数は276頭で、畜種別では牛103頭、豚173頭であった。原因別では、膿毒症140頭、敗血症19頭、尿毒症7頭、高度の黄疸19頭、高度の水腫43頭、牛伝染性リンパ腫22頭、白血病1頭、全身性の出血性炎症2頭、全身性の筋肉変性21頭、豚丹毒2頭であった。

ウ 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、31,194頭で、畜種別では牛4,121頭(処分率77.0%)、とく5頭(62.5%)、豚27,060頭(34.0%)、めん羊2頭(20.0%)、山羊6頭(20.0%)であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があるなど、何らかの疾病が疑われた516頭の病畜を検査した。畜種別では、牛513頭(99.4%)、とく2頭(0.4%)、山羊1頭(0.2%)であった。

検査の結果、全部廃棄処分したものは牛88頭であり、全部廃棄率としては牛17.2%であった。

(4) TSE(BSE)スクリーニング検査

平成13年9月に国内で初めて牛海綿状脳症(以下「BSE」という。)の罹患牛が確認され、同年10月から全国のと畜場で処理される全ての牛についてBSEスクリーニング検査が開始された。その後、平成17年に山羊、めん羊が検査対象に追加され、伝達性海綿状脳症(以下「TSE」という。)のスクリーニング検査となった。

国内でのBSE対策による発生リスクの低減に伴い、検査対象の見直しが定期的になされ、平成29年度以降は健康牛のBSE検査が廃止され、神経症状を示す等と畜検査員が疾病鑑別のため検査が必要と判断する牛(24か月齢以上)、山羊及びめん羊がスクリーニング検査対象となった。令和4年度は該当するものはなかった。

(5) と畜検査の詳細

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛				馬	とく	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	肉専用種	計						
4	6,864	146	323	0	469	0	0	6,387	2	6	20
5	6,846	121	310	0	431	0	1	6,411	3	0	19
6	7,127	172	293	0	465	0	0	6,655	2	5	22
7	6,504	145	299	0	444	0	2	6,054	0	4	20
8	7,083	126	325	0	451	0	1	6,631	0	0	21
9	7,035	151	308	0	459	0	1	6,573	1	1	20
10	7,096	114	314	0	428	0	0	6,664	1	3	20
11	7,553	169	343	0	512	0	0	7,035	0	6	20
12	7,381	148	325	0	473	0	0	6,902	1	5	20
1	7,003	126	270	0	396	0	0	6,607	0	0	19
2	6,807	149	249	1	399	0	0	6,408	0	0	19
3	7,588	148	273	1	422	0	3	7,163	0	0	22
4年度合計	84,887	1,715	3,632	2	5,349	0	8	79,490	10	30	242
3年度合計	82,249	1,601	3,570	2	5,173	0	5	77,057	5	9	242
前年度比(%)	103.2	107.1	101.7	100.0	103.4	—	160.0	103.2	200.0	333.3	100.0

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛				馬	とく	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	肉専用種	計					
4	43	6	37	0	43	0	0	0	0	0
5	48	3	44	0	47	0	1	0	0	0
6	40	7	33	0	40	0	0	0	0	0
7	46	5	41	0	46	0	0	0	0	0
8	60	6	54	0	60	0	0	0	0	0
9	69	7	61	0	68	0	1	0	0	0
10	62	3	58	0	61	0	0	0	0	1
11	40	4	36	0	40	0	0	0	0	0
12	24	6	18	0	24	0	0	0	0	0
1	25	3	22	0	25	0	0	0	0	0
2	30	7	22	1	30	0	0	0	0	0
3	29	5	24	0	29	0	0	0	0	0
4年度合計	516	62	450	1	513	0	2	0	0	1
3年度合計	606	70	531	0	601	0	4	1	0	0

ウ 産地別搬入頭数

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥取市	800		2	1,520		
岩美町	15		1	0		
八頭町	158		1	0		
若桜町	31		0	370		
智頭町	36		0	0		
(東部地区計)	1,040	0	4	1,890	0	0
倉吉市	394			3,681		
湯梨浜町	0			0		
三朝町	37			0		
北栄町	184			2,901		
琴浦町	2,964			16,099		
(中部地区計)	3,579	0	0	22,681	0	0
米子市	5			1	2	0
境港市	0			0	0	1
南部町	114			152	4	0
伯耆町	11			0	2	3
日吉津村	0			0	0	0
大山町	539			47,465	0	0
日南町	6			0	0	0
日野町	2			0	0	0
江府町	32			0	0	0
(西部地区計)	709	0	0	47,618	8	4
鳥取県合計	5,328	0	4	72,189	8	4

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
北海道	11		2			
島根	3				2	26
岡山	1		2			
広島				7,301		
高知	1					
宮崎	5					
県外合計	21	0	4	7,301	2	26
総計	5,349	0	8	79,490	10	30

エと畜場内と殺頭数及び獣畜のと殺解体禁止又は廃棄したものの原因

区分	と畜場と殺頭数	処理	処分実頭数	疾病別頭数												計											
				炭疽	豚丹毒	サルモネラ症	結核	ブルセラ症	破傷風	放線菌病	その他	ウイルス	原虫	のう虫病	シストマ病		その他	膿毒症	敗血症	尿毒症	黄疸	水腫	腫瘍	中毒諸症	炎症又は汚染性産物	変性又は萎縮	その他
牛	5,349	禁止																									
		全部廃棄	103																								
		一部廃棄	4,121																								
		計	4,224																								
とく	8	禁止																									
		全部廃棄	5																								
		一部廃棄	5																								
		計																									
馬		禁止																									
		全部廃棄																									
		一部廃棄																									
		計																									
豚	79,487	禁止	3																								
		全部廃棄	173																								
		一部廃棄	27,060																								
		計	27,236																								
めん羊	10	禁止																									
		全部廃棄	2																								
		一部廃棄	2																								
		計																									
山羊	30	禁止																									
		全部廃棄	6																								
		一部廃棄	6																								
		計																									
計	84,884	禁止																									
		全部廃棄	276																								
		一部廃棄	31,194																								
		計	31,473																								
		計																									

オ 病類別一部廃棄頭数

区分	疾病名	豚	牛				とく	めん羊	山羊
			和牛	乳牛	肉専用種	計			
呼吸器系	肺炎(SEP様)	13,197	0	0	0	0	0	0	0
	〃(ヘモフィルス様)	1,899	0	0	0	0	0	0	0
	〃(その他の型)	0	96	179	0	275	2	0	2
	肺膿瘍	301	0	0	0	0	0	0	0
	胸膜炎	4,383	230	485	0	715	0	0	1
小計	19,780	326	664	0	990	2	0	3	
循環器系	心外膜炎	2,270	21	135	0	156	0	0	0
	心筋炎	0	16	65	0	81	0	1	1
	小計	2,270	37	200	0	237	0	1	1
消化器系	胃炎	1	14	107	0	121	1	0	0
	胃潰瘍	0	7	10	0	17	0	0	0
	腸炎	1,806	71	179	0	250	1	2	0
	腸間膜水腫	23	1	2	0	3	0	0	0
	腸間膜脂肪壊死	0	81	6	0	87	0	0	0
	腸結節虫	0	5	4	0	9	0	0	0
	腸間膜抗酸菌症	518	0	0	0	0	0	0	0
	腸気泡症	17	0	0	0	0	0	0	0
	肝炎(膿瘍型)	0	60	176	0	236	0	0	0
	〃(鋸屑肝型)	0	618	1,131	0	1,749	1	0	0
	〃(胆管炎型)	0	14	37	0	51	0	0	0
	〃(その他の型)	5,236	65	139	0	204	0	1	0
	肝包膜炎	1,403	50	143	0	193	0	1	1
	退色肝	1,256	3	83	0	86	0	0	0
	肝硬変	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝富脈斑	0	38	262	0	300	0	0	0
	肝蛭症	0	1	3	0	4	0	0	0
寄生肝(豚回虫)	1,804	0	0	0	0	0	0	0	
腹膜炎	461	7	55	0	62	0	0	0	
小計	12,525	1,035	2,337	0	3,372	3	4	1	
泌尿・生殖器系	腎炎	1,464	137	362	0	499	1	0	0
	膀胱炎	2	38	40	0	78	0	0	0
	子宮内膜炎	2	10	76	0	86	0	0	0
	乳房炎	0	0	120	0	120	1	0	0
	小計	1,468	185	598	0	783	2	0	0
運動器系	放線菌症	0	0	3	0	3	0	0	0
	膿瘍	2,655	7	52	0	59	1	0	3
	関節炎	317	13	110	1	124	1	0	0
	骨折	25	1	16	0	17	1	0	0
	脱臼	0	1	44	0	45	0	0	0
	筋肉変性	130	0	0	0	0	0	0	0
	水腫	403	29	114	0	143	1	0	0
	褥瘡	0	3	45	0	48	0	0	0
	筋出血(打撲)	1,224	479	1,231	0	1,710	0	0	0
小計	4,754	533	1,615	1	2,149	4	0	3	
炎症による内臓全廃	211	0	0	0	0	0	0	0	
腫瘍	4	0	1	0	1	0	0	0	
黄疸	9	0	6	0	6	0	0	0	
合計	41,021	2,116	5,421	1	7,538	11	5	8	
廃棄実頭数	27,060	1,291	2,829	1	4,121	5	2	6	

カ 病畜疾病別検査頭数

病名	畜種	豚	牛				とく	山羊	合計
			和牛	乳牛	肉専用種	計			
禁止	とさ	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
全部廃棄	膿毒症	0	0	10	0	10	0	0	10
	敗血症	0	0	5	0	5	0	0	5
	尿毒症	0	3	1	0	4	0	0	4
	高度の黄疸	0	1	10	0	11	0	0	11
	高度の水腫	0	4	37	0	41	0	0	41
	豚丹毒	0	0	0	0	0	0	0	0
	白血病	0	3	14	0	17	0	0	17
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	11	77	0	88	0	0	88
循環器系・呼吸器系	心外膜炎	0	0	1	0	1	0	0	1
	肺炎	0	2	16	0	18	0	0	18
	肺膿瘍	0	0	1	0	1	0	0	1
	胸膜炎	0	0	1	0	1	0	0	1
	小計	0	2	19	0	21	0	0	21
消化器系	鼓脹症	0	0	0	0	0	0	0	0
	弛緩症	0	0	0	0	0	0	0	0
	四胃変位	0	1	32	0	33	0	0	33
	創傷性胃炎	0	0	3	0	3	0	0	3
	胃炎	0	2	12	0	14	0	0	14
	腸炎	0	1	16	0	17	0	0	17
	腸間膜脂肪壊死	0	3	1	0	4	0	0	4
	腹膜炎	0	1	7	0	8	0	0	8
	肝炎	0	1	2	0	3	0	0	3
	肝膿瘍	0	0	2	0	2	0	0	2
	胆管炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝硬変	0	0	0	0	0	0	0	0
	肝蛭症	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	9	75	0	84	0	0	84
泌尿器・生殖器系	腎炎	0	0	1	0	1	0	0	1
	膀胱炎	0	0	1	0	1	0	0	1
	尿石症	0	8	2	0	10	0	0	10
	子宮蓄膿症	0	1	8	0	9	0	0	9
	子宮内膜炎	0	0	3	0	3	0	0	3
	子宮捻転	0	0	1	0	1	0	0	1
	子宮脱・膣脱	0	0	0	0	0	0	0	0
	脱肛	0	0	1	0	1	0	0	1
	乳房炎	0	0	57	0	57	0	0	57
	難産	0	0	5	0	5	0	0	5
	小計	0	9	79	0	88	0	0	88
運動器系	骨折	0	1	11	0	12	1	0	13
	関節炎	0	11	71	1	83	0	0	83
	脱臼	0	1	42	0	43	0	0	43
	骨軟症	0	0	0	0	0	0	0	0
	膿瘍	0	1	6	0	7	1	0	8
	筋間出血	0	5	17	0	22	0	0	22
	筋間水腫	0	3	0	0	3	0	0	3
	蹄病	0	0	13	0	13	0	0	13
	フレグモーネ	0	1	3	0	4	0	0	4
	小計	0	23	163	1	187	2	0	189
その他	放線菌病	0	0	2	0	2	0	0	2
	熱射病	0	0	1	0	1	0	0	1
	産後起立不能症	0	1	20	0	21	0	0	21
	原因不明起立不能症	0	4	2	0	6	0	1	7
	腫瘍	0	0	1	0	1	0	0	1
	その他	0	3	11	0	14	0	0	14
	小計	0	8	37	0	45	0	1	45
合計		0	62	450	1	513	2	1	516

(6) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は208頭で、検査延件数は1,017件であった。

畜種	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
牛		116	96	181	226	45	548
豚		92	143	294	16	16	469
合計		208	239	475	242	61	1,017
令和3年度		433	288	1,272	239	82	1,881

イ 受託検査

中部および西部総合事務所から25件の委託を受けて細菌検査を実施した。

項目	検査区分	受託件数	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延べ件数
HACCP 外部検証	鶏	25	50	0	0	50
その他						
合計		25	50	0	0	50
令和3年度		15	30	0	0	30

ウ 調査研究

病理検査及び微生物検査、その他、合計414件の検査を実施した。

畜種	検査区分	検体数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	その他	検査延べ件数
病理検査		11			54			54
微生物検査 (PCR)		9		159				159
微生物検査 (汚染度調査)								
微生物検査 (同定)		8		72				72
精度管理		11	3	46		80		129
残留物質								
その他								
合計		39	3	277	54	80	0	414
令和3年度		187	3	501	68	65	0	637

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) 枝肉等の衛生状態の把握

と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉の切除法検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

切除法検査

区 分	項 目	実施回数	件 数
牛枝肉	腸内細菌科菌群数	12	60
	一般細菌数	12	60
豚枝肉	腸内細菌科菌群数	12	60
	一般細菌数	12	60

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間（8 / 1～8 / 31）に合わせてと畜場入り口に垂れ幕及び立て看板を設置して来場者の衛生意識の高揚を図った。

(3) 従事者の衛生教育

と畜従事者全員を対象として、と畜場の衛生管理及び従事者の衛生管理について講習を行い、理解を深めた。

(4) 食品営業許可施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食肉販売業、食品の冷凍冷蔵業の食品営業許可施設について監視を実施（令和4年度10回実施）し、不適事項については改善するよう指導した。

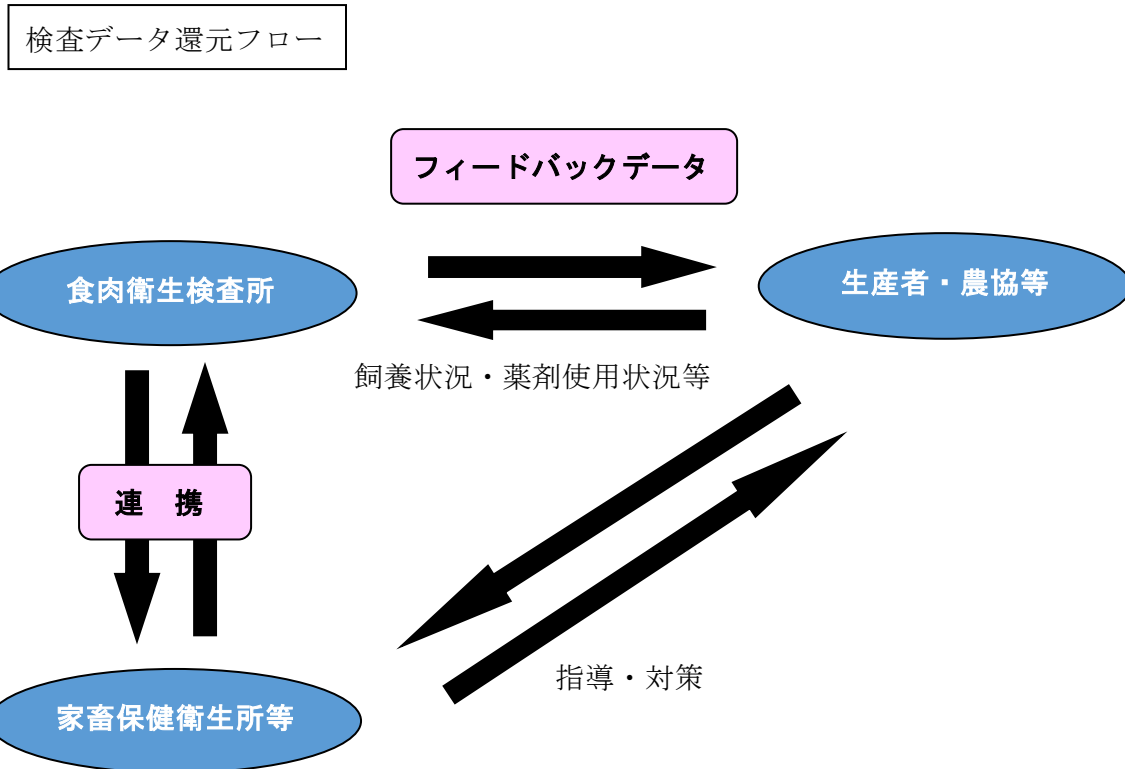
3 と畜検査データフィードバック事業

(1) 生産者等へのフィードバック

食肉の安全性確保対策の一環として、平成6年4月から検査データのフィードバック事業を継続している。

と畜検査で得た家畜の疾病状況を1か月ごとのデータとして取りまとめ、家畜保健衛生所及び生産者・農協等へフィードバックしている。

当検査所、家畜保健衛生所及び生産者が連携、協力していくことで、家畜の疾病排除、疾病予防、生産性の向上につながり、ひいては安全な食肉の提供に寄与している。



フィードバック事業参加者数

区 分	牛	豚
家畜保健衛生所	3	3
生産者	28	20

(2) 臨床獣医師へのフィードバック

臨床獣医師が診断した動物について、臨床獣医師からの依頼及び生産者からの承諾が得られたものについては、臨床獣医師へと畜検査結果の情報提供を行い、生産現場との連携強化を図った。

4 検体採取等の協力 (R4)

依頼者	目的	検体
鳥取大学農学部共同獣医学科	牛の妊娠子宮及び胎子の構造理解 (学生実習用)	牛の妊娠子宮
	家畜の体外受精に関する研究	牛の卵巣
	家畜の雌性および雄性生殖器の形態学的研究 (学生実習用)	牛の卵巣・子宮、豚の卵巣・子宮、豚・牛精巣・陰茎
	牛の蹄病に対する CT 画像解析に関する研究	経産牛の左右後肢蹄
鳥取大学医学部医動物学分野	基礎感染症学および病原寄生虫学演習の学生実習	寄生虫感染家畜の糞便及び寄生虫虫体
J A全農ミートフーズ (株) 鳥取営業所	自社農場の疾病状況調査	豚の肺及び鼻甲介
(独) 家畜改良センター 鳥取牧場	人工授精、受精卵移植の受胎率向上のための職員研修	牛の卵巣・子宮
鳥取県畜産試験場	「体外受精卵技術を活用した和牛増頭と育種改良技術の確立」の研究	牛の卵巣又は子宮
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精師講習会の教材	牛の卵巣・子宮

5 調査研究

実績なし。

6 食肉衛生検査所PR事業

令和4年度には下記の視察・研修を受け入れ、事業説明・PR等を積極的に行った。

視察・研修会の概要

月 日	来 訪 団 体 名 等	研 修 会	受 講 者 数
8月9日	公立鳥取環境大学環境学部	オンライン説明	7名
8月23日 8月25日	鳥取大学農学部共同獣医学科	検査所見学実習	8名
合 計		3回	15名

Ⅲ 研究発表の記録

1 過去10年間の学会・研修会発表記録

発表年度	演 題 名	学 会、研 修 会	演 者 名
平成 25 年度	と畜場における牛内臓肉の汚染 状況調査	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 獣医師会中国地区三学会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブ ック会議及び技術研修会	水谷恵子
	敗血症を呈した牛から分離され た大腸菌の病原性関連遺伝子の 検索	全国食肉衛生検査所協議会微生物部会	水谷恵子
平成 26 年度	食肉運搬車両の衛生監視指導に ついて	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 食肉衛生技術研修会・衛生発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブ ック会議及び技術研修会	門木淳子
	敗血症を呈した牛から分離され た大腸菌の病原性関連遺伝子の 検索	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会 (※)	水谷恵子 西尾尚紀*
平成 27 年度	牛枝肉洗浄におけるカンファ水 使用の効果とと畜場の衛生管理	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブ ック会議及び技術研修会 鳥取県獣医学会	谷 泉乃
	と畜検査において認められた豚 の白血病	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会	西尾尚紀
平成 28 年度	牛小腸の処理方法の違いによる 汚染状況の比較とカンファ水に よる洗浄効果の検証	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブ ック会議及び技術研修会 (※) 鳥取県獣医学会	水谷恵子 織奥真弓*

	鳥取県内の豚における E 型肝炎ウイルス浸潤状況調査	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県獣医学会 (※)	瀧奥暁子 山本香織*
平成 29 年度	鳥取県内のと畜場における牛・豚の基質特異性拡張型 β-ラクタマーゼ産生大腸菌の保有状況について	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 中国地区公衆衛生学会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会 食肉衛生技術研修会・衛生発表会 (全国)	水谷恵子
	と畜検査において認められた非定型牛白血病の一例	鳥取県獣医学会 獣医師会中国地区三学会 全国食肉衛生検査所協議会病理部会	西尾尚紀
平成 30 年度	と畜場における動物用医薬品が使用された獣畜への対応について	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会	大下幸子
平成 31 年度 (令和元年度)	Colony sweep PCR 法を用いた関節炎型豚丹毒診断法の検討	食品衛生担当業務研究発表会 鳥取県公衆衛生学会 鳥取県獣医学会	山本香織
	と畜場における動物用医薬品の不適正使用事例について	全国公衆衛生獣医師協議会調査研究発表会	西尾尚紀
令和 2 年度	豚の感染性心内膜炎症例の敗血症判定方法の検討	食品衛生担当業務研究発表会 中国地区食品衛生監視員研究発表会 全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 全国食肉衛生検査所協議会微生物部会 (※)	織奥真弓 上田豊*
令和 3 年度	家畜伝染病及び届出伝染病に対する食肉衛生検査所の検査体制について	全国食肉衛生検査所協議会中国・四国ブロック会議及び技術研修会 食肉及び食鳥肉衛生研究発表会	稲垣文弥

1 年度別と畜検査頭数（鳥取県）

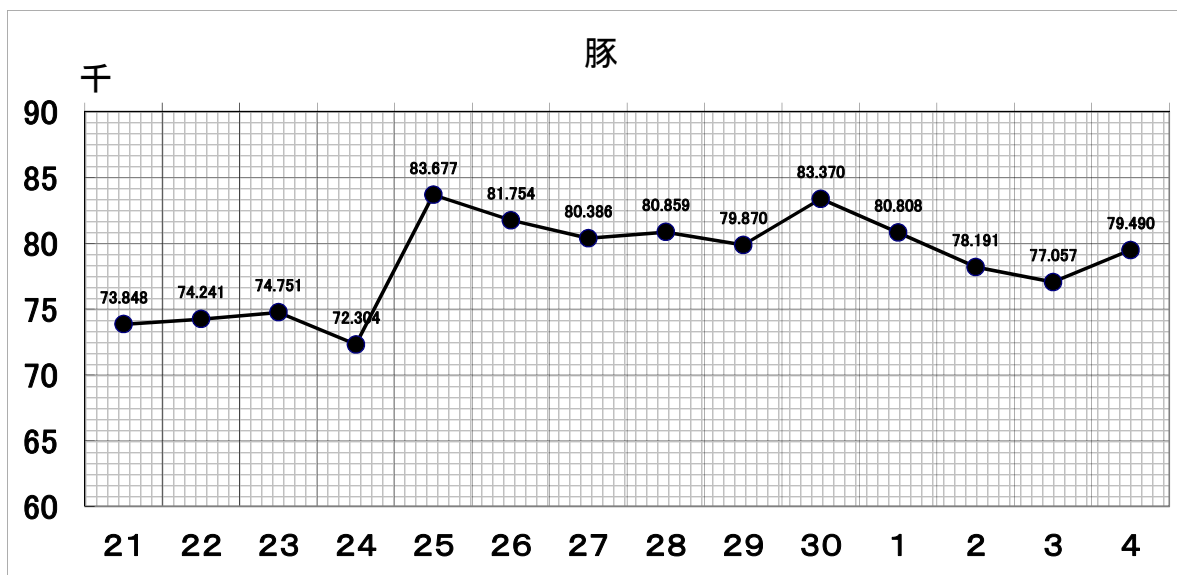
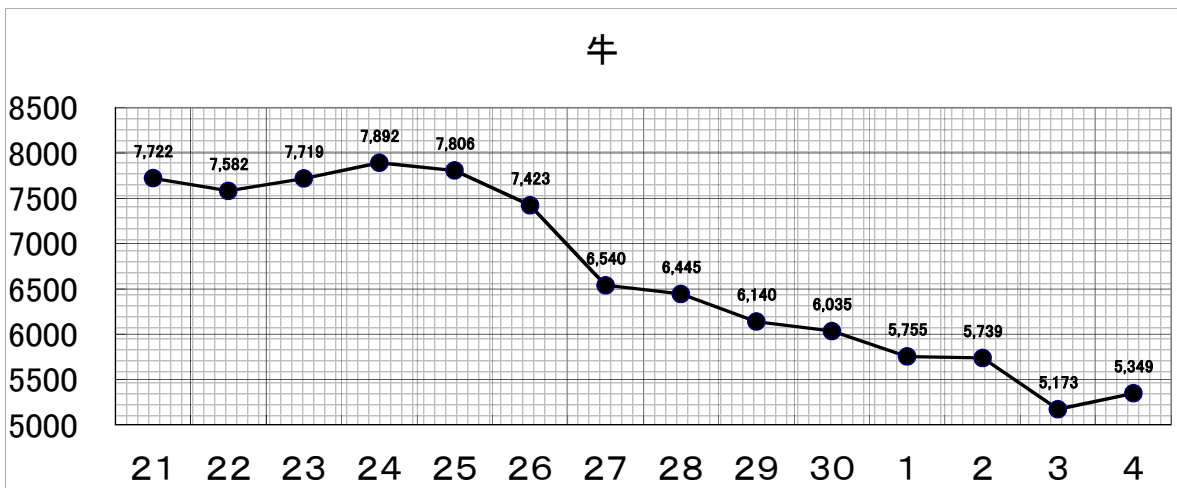
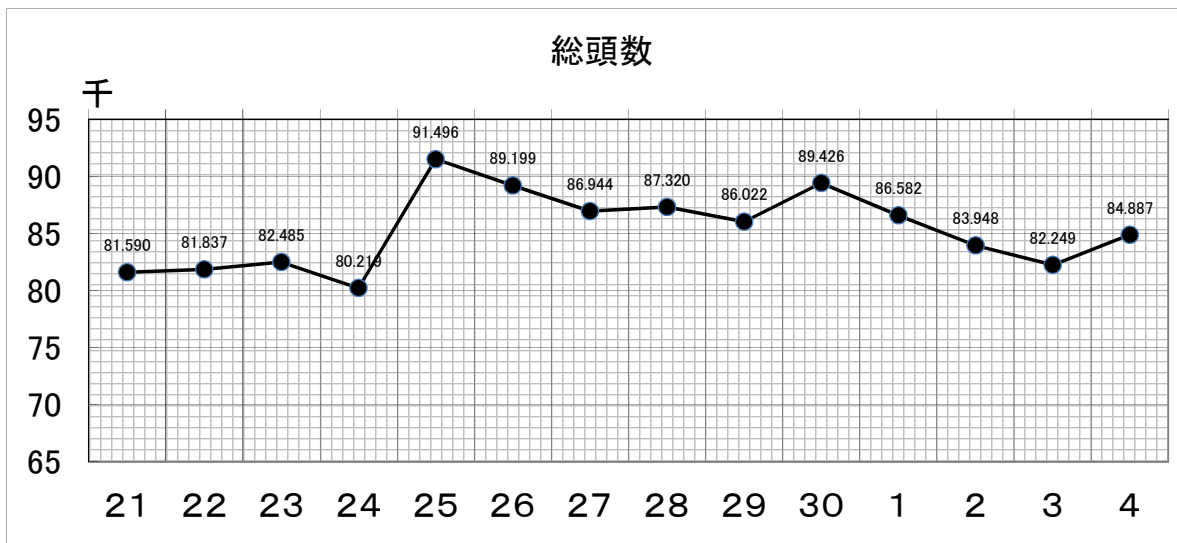
年度	と畜検査頭数			病畜検査			廃棄頭数				試験室内検査	
	総数	と畜場内	場外	総数	時間内	時間外	総数	全部	禁止	一部	頭数	件数
H6	82,509	82,508	1	1,679	1,642	137	38,062	237	1	37,825	880	24,544
7	79,625	79,624	1	1,531	1,500	131	37,656	244	1	37,412	865	20,015
8	69,900	69,899	1	1,627	1,591	36	31,693	158	2	31,535	1,007	11,410
9	63,289	63,288	1	1,539	1,513	26	29,769	152	1	29,617	900	11,902
10	69,032	69,032	0	1,515	1,500	15	34,826	137	0	34,689	637	7,906
11	67,343	67,343	0	1,406	1,387	19	30,379	150	2	30,229	607	9,220
12	68,063	68,063	0	1,221	1,209	12	28,849	153	1	28,696	829	7,529
13	73,109	73,109	0	1,136	1,133	3	29,202	155	0	29,047	421	4,478
14	79,599	79,599	0	1,062	1,060	2	31,776	170	1	31,605	544	7,505
15	85,064	85,064	0	1,094	1,091	3	41,213	228	3	40,985	590	8,550
16	84,838	84,838	0	991	988	3	39,492	225	2	39,267	606	10,096
17	81,834	81,834	0	1,004	999	5	32,817	134	1	32,683	504	4,809
18	77,126	77,126	0	929	927	2	37,427	186	0	37,241	564	6,677
19	71,081	71,081	0	864	864	0	34,956	232	4	34,724	572	7,443
20	72,044	72,044	0	893	893	0	32,117	212	1	31,905	632	8,167
21	81,590	81,590	0	727	727	0	32,079	161	0	31,918	699	4,493
22	81,837	81,837	0	719	719	0	31,941	122	0	31,819	877	4,593
23	82,485	82,485	0	673	673	0	36,752	157	0	36,595	913	5,008
24	80,219	80,219	0	679	679	0	38,467	128	1	38,339	944	4,944
25	91,496	91,496	0	721	720	1	43,231	149	1	43,082	863	5,218
26	89,199	89,199	0	623	623	0	48,922	131	1	48,791	433	3,190
27	86,944	86,944	0	629	629	0	45,273	155	0	45,118	503	3,549
28	87,317	87,317	0	599	599	0	40,368	189	3	40,179	540	3,952
29	86,022	86,022	0	599	598	1	35,047	158	0	34,889	515	4,028
30	89,426	89,426	0	650	649	1	34,072	299	0	33,773	389	4,743
R1	86,582	86,582	0	678	678	0	41,412	312	2	41,098	389	2,908
2	83,948	83,948	0	624	624	0	36,807	240	1	36,566	294	1,231
3	82,249	82,249	0	606	606	0	26,634	344	5	26,285	433	1,881
4	84,887	84,887	0	516	516	0	31,473	276	3	31,194	208	1,017

2 畜種別と畜検査頭数（（株）鳥取県食肉センターと畜場）

年度	総頭数	牛				馬	とく		豚	めん羊	山羊	開場数 日
		和牛	乳牛	肉専用種	計		大	小				
21	81,590	2,280	5,442	0	7,722	0	4	0	73,848	12	4	241
22	81,837	1,962	5,620	0	7,582	1	5	0	74,241	6	2	243
23	82,485	2,083	5,636	0	7,719	0	4	0	74,751	8	3	243
24	80,219	2,234	5,658	0	7,892	0	6	0	72,304	12	5	242
25	91,496	2,112	5,694	0	7,806	0	2	0	83,677	11	0	244
26	89,199	2,345	5,078	0	7,423	0	9	0	81,754	10	3	244
27	86,944	1,962	4,578	0	6,540	0	10	0	80,386	7	1	241
28	87,317	1,937	4,508	0	6,445	0	10	0	80,856	2	4	245
29	86,022	1,823	4,317	0	6,140	0	8	0	79,870	3	1	242
30	89,426	1,797	4,238	0	6,035	1	7	0	83,370	10	3	242
R1	86,582	1,863	3,892	0	5,755	0	7	0	80,808	9	3	240
2	83,948	1,946	3,793	0	5,739	0	5	0	78,191	0	13	241
3	82,249	1,601	3,570	2	5,173	0	5	0	77,057	5	9	242
4	84,887	1,715	3,632	2	5,349	0	8	0	79,490	10	30	242

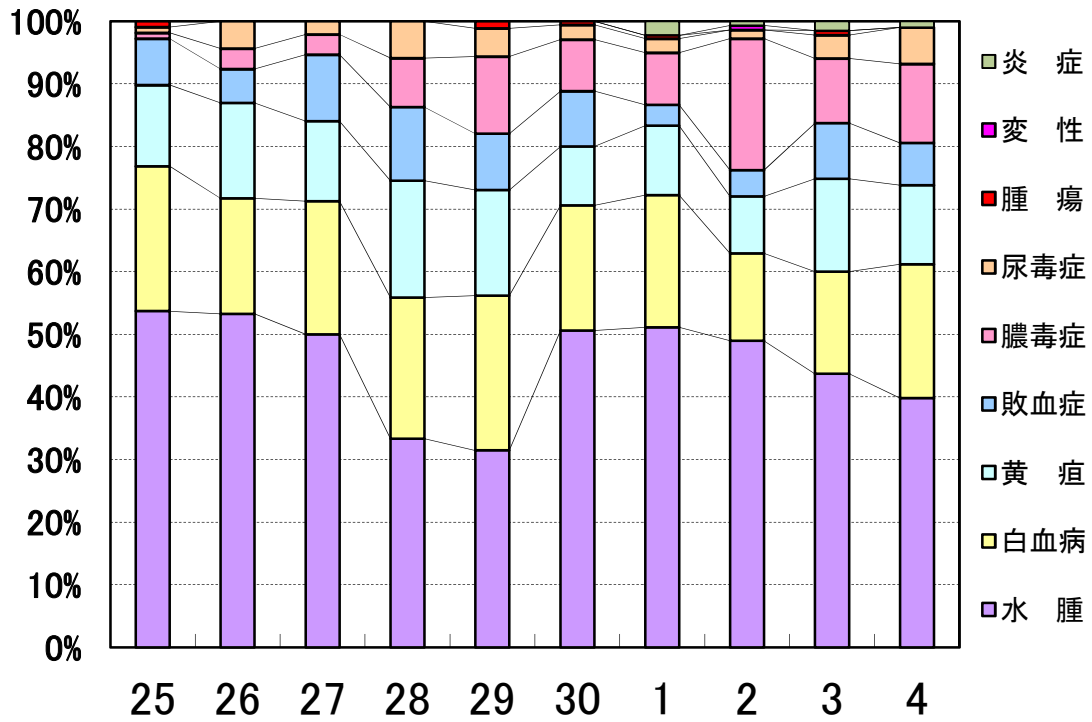
注：「とく」は生後1年未満の牛、小とくは生体50kg未満、大とくは生体50kg以上のもの。

3 と畜検査頭数の推移

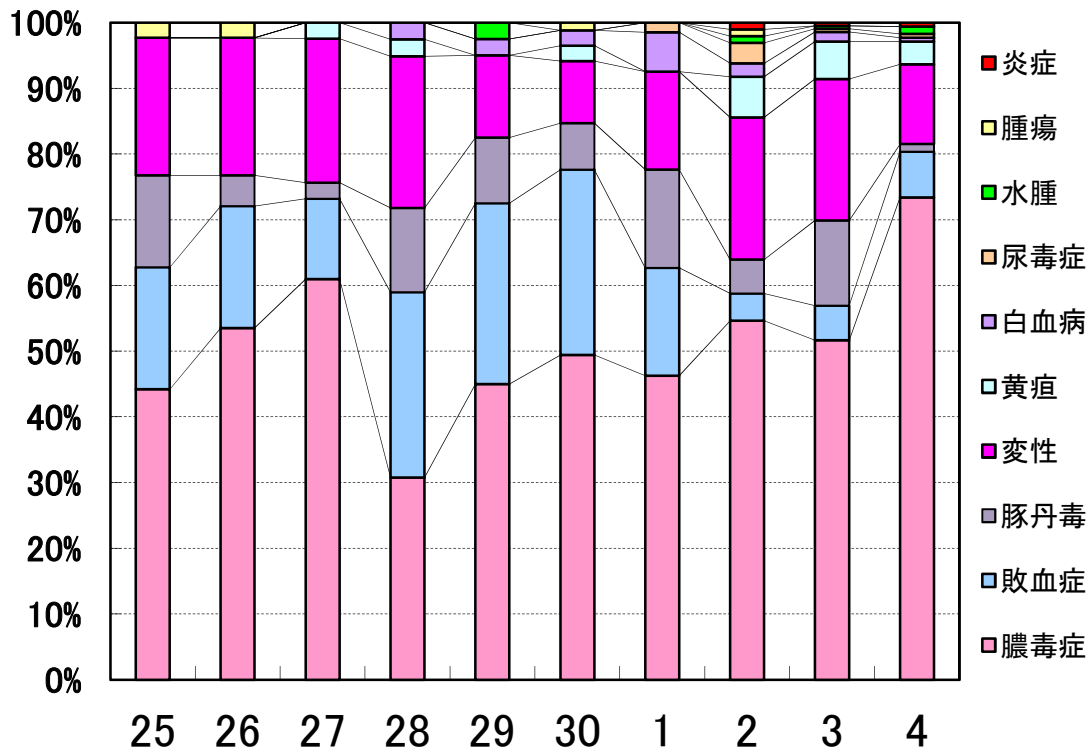


4 全部廢棄原因別狀況

牛



豚



5 検査結果に基づく処分頭数

(単位：頭数、%)

区 分	総 数							令和4年度の畜種別内訳						
	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊	
検査頭数	87,317	86,022	89,426	86,582	83,948	82,249	84,887	5,349	0	8	79,490	10	30	
処分頭数 (処分率)	40,371 (46.2)	35,047 (40.7)	34,072 (38.1)	41,412 (47.8)	36,807 (43.8)	26,634 (32.4)	31,473 (37.1)	4,224 (79.0)	0	5 (62.5)	27,236 (34.3)	2 (20.0)	6 (20.0)	
内 訳	と殺・解体禁止	3	0	0	2	1	5	3	0	0	0	3	0	0
	全部廃棄 (処分率)	189 (0.22)	299 (0.33)	299 (0.33)	312 (0.36)	240 (0.29)	344 (0.42)	276 (0.33)	103 (1.9)	0	0	173 (0.22)	0	0
	一部廃棄 (処分率)	40,179 (46.1)	33,773 (37.8)	33,773 (37.8)	41,098 (47.5)	36,566 (43.6)	26,285 (32.0)	31,194 (36.7)	4,121 (77.0)	0	5 (62.5)	27,060 (34.0)	2 (20.0)	6 (20.0)

6 鳥取県食肉衛生検査所案内図

- 列車を利用される方へ
JR山陰本線 御来屋（みくりや）駅から検査所までの公共交通機関はありません。予め検査所へ御連絡ください。
* 御来屋駅から車で7分（約6km）
- 車で来所される方へ
山陰自動車道または国道9号線をご利用ください。詳細は下図を御参照ください。なお、不明な場合は検査所へ御連絡ください。
* JR米子駅から車で40分

